

# 吉野地方よしののわりばし

きょう、コウジは 家族ぞくで お昼ごはんを 食べるに 来て います。  
コウジの たのんだ メニューが やつと ききました。

「いただきます。」

パンツ。わりばしを わると、とても

いい 音が しました。食べながら、コウ

ジは おじいさんに たずねました。

「ねえ、おじいちゃん。わりばしって一

回しか 使つかわないから もったいないよ

ね。」

すると、おじいさんは にこにこ しな

がら 教えて くれました。

「そうだね。でも、この わりばしはね、

切った 木を 柱はしらにする ときに あ



まった　ところで　作られて　いるんだ  
よ。あまった　ところを　捨てるのが  
もったいないので、考え出された　もの  
なんだよ。」

コウジは、もったいないから　作られた  
と　聞いて　びっくりしました。

「この　わりばしは、吉野地方で　作られ  
て　いるんだよ。むかしから　吉野地方  
は　わりばし作りが　さかんなんだ。吉  
野地方の　すぎの　木は、柱や　板とし  
て　使われて　きたんだけど、切りたお  
した　すぎの　木を、大切に　さいごま  
で　むだなく　使うために　作られたん  
だよ。」

おじいさんの　話を　聞きながら、コウ  
ジは、この　あいだ　新しい　ノートが



使いたくて、まだ ノートが のこって いたけれど、新しい ノートを買って ほしいと ねだった ことを 思い出しました。

(さいごまで むだなく 使うかあ。ぼくの ノートや えんぴつも

大切に 使ったら まだ 使えるなあ。)

コウジは 少し はずかしく なりました。

た。

「おじいちゃん、この わりばし、いい  
においが するね。」

「そうだろう。吉野地方の すぎの とて  
も いい かがりが するから、食べ物<sup>もの</sup>  
が いっそう おいしく かんじられる  
ね。吉野地方の 人たちの ものやし  
ぜんを 大切に する 心が こもって  
いる わりばし だからかなあ。」



わりばしをほしているところ

そう 言いながら、おじいさんは コ  
ウジを 見て につこりと 笑わらいました。

コウジは ものを 大切に する 心  
って だいじだなあと 思いました。コ  
ウジの 頭の中には、ふだん 自分が  
使っている いろいろな もの  
とが うかんで いました。



○ どうして コウジは、少し はずかしく なったのでし  
う。

○ ふだん 自分が 使っている いろいろな 物のこと  
を 頭に うかべながら コウジは、どんな ことを 考えた  
のでしょう。

奈良県教育委員会

<http://www.pref.nara.jp/gakko/> (学校教育課Webページ)

